

# 整形外科



**専門医資格等**  
 日本専門医機構  
 認定整形外科専門医  
 日本整形外科学会  
 認定運動器  
 リハビリテーション医  
 京都大学医学部臨床教授  
 京都大学博士（医学）

**専門分野**  
 人工股関節

診療科長  
**山田 茂**

## | スタッフ |

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医 長	山本 博史	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定リウマチ医 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医 日本手外科学会専門医 日本マイクロサージャリー学会評議員 日本肘関節学会評議員 京都大学博士（医学）	マイクロサージャリーによる組織再建	上肢・手の外科、四肢外傷
医 長	向井 章悟	日本専門医機構認定整形外科専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 京都大学博士（医学）	関節鏡視下手術、スポーツ整形外科、小児整形外科	
医 長	宮田 誠彦	日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科指導医 日本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄病医 日本専門医機構認定整形外科専門医 日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医 京都大学博士（医学）	脊椎外科	
医 師	坪内 直也	日本専門医機構認定整形外科専門医	脊椎外科、整形外科一般	
医 師	中山 雄介	日本専門医機構認定整形外科専門医 日本体育協会公認スポーツドクター	膝関節、外傷、骨粗鬆症	
医 師 (育児休業)	南 良輔 2022年10月20日から	日本専門医機構認定整形外科専門医	人工股関節	
専 攻 医	中村 亮太 2022年6月30日まで		整形外科一般	
専 攻 医	高橋 基		整形外科一般	
専 攻 医	樋 謙作			
専 攻 医	笹原慎太郎 2022年10月1日から			

## | 令和4年度の主な取組 |

整形外科には複数のサブスペシャリティがあります。

脊椎部門は専門医二人体制で外来日、手術日を増やし、ハイブリッド手術室稼働で難易度の高い手術も安全に行えるようになりました。

膝は靭帯再建術や、関節温存手術、人工関節置換術などを行います。後者は従来の全置換のみならず、低侵襲の単類型人工関節も行うようになりました。

肩は鏡視下手術や専門資格が必要な特殊な人工関節置換術も行います。

手外科およびマイクロサージェリーの技術により手指機能再建や末梢神経関連の複雑な手術も行います。

人工股関節置換術には一定の成果があります。

このように的確な診断と高い技術が要求される難易度の高い疾患分野を扱っていることが大病院の整形外科の証であると思っております。

骨折などの外傷についても広い分野をカバーしております。

## | 診療実績 |

入院患者数

	2021年度	2022年度
1日平均患者数(名)	43.5	33.9
新入院患者数(名)	640	565
平均在院日数(日)	23.4	20.7

外来患者数

	2021年度	2022年度
1日平均総患者数(名)	77.3	62.5

主な術式別手術件数(2022年度)

頸椎手術	26件	人工膝関節置換	37件
胸腰椎手術	71件	骨接合術	226件
人工股関節置換	56件	腱・靭帯手術	20件
人工骨頭置換	42件		

## | 学術活動報告(学会・研究発表など) |

発表年月日	発表学会
2022.02.11-12	第34回日本肘関節学会学術集会
	「砂時計様くびれによる橈骨神経麻痺の手術適応についての一考」 山本 博史、向井 章悟、中川 泰彰
2022.02.18-19	第34回日本軟骨代謝学会
	「高吸収グルクミン1年間内服による臨床効果と軟骨保護作用の検討」 中川 泰彰、森 浩二、山田 茂、向井 章悟、廣瀬 晶子、中村 亮太
2022.04.21-22	第51回日本脊椎脊髄病学会学術総会
	「腰椎椎弓根 screw 刺入点は副突起周囲のどこに位置するか?—3D シミュレーションソフトウェアによる解剖学的検討—」 坪内 直也、宮田 誠彦、向井 章悟、山田 茂、中川 泰彰

発表年月日 演題名等 / 演者 (下線は当院所属)	発表学会
2022.04.21-22	第51回日本脊椎脊髄病学会学術総会
[頸椎症性脊髄症における屈曲位K-line (-) と後方除圧術後の頸椎前彎減少 中間位K-line (+) から (-) に転じるリスクの評価]	
宮田 誠彦、坪内 直也、向井 章悟、山田 茂、中川 泰彰	
2022.05.19-22	第95回日本整形外科学会学術総会
[膝軟骨損傷の術前MRI診断はどこまで可能か。]	
中川 泰彰、山田 茂、山本 博史、向井 章悟、宮田 誠彦、坪内 直哉、南 良輔、坂井沙也子、新屋 祐希、中村 亮太、高橋 真	
2022.05.19-22	第95回日本整形外科学会学術総会
[膝骨軟骨疾患に対する自家骨軟骨移植術で正座はどこまで可能となるか]	
中川 泰彰、山田 茂、山本 博史、向井 章悟、宮田 誠彦、坪内 直哉、南 良輔、坂井沙也子、新屋 祐希、中村 亮太、高橋 真	
2022.05.19-22	第95回日本整形外科学会学術総会
[病巣部面積4cm <sup>2</sup> 以上の膝軟骨損傷における自家骨軟骨移植術の治療成績]	
高橋 真、中川 泰彰、山田 茂、山本 博史、向井 章悟、宮田 誠彦、坪内 直哉、南 良輔、坂井沙也子、新屋 祐希、中村 亮太	
2022.05.28	第34回西整医病診連携の会
[Degloved hand]	
山本 博史	
2022.06.16-18	JOSKAS-JOSSM 2022
[Suture buttonを用いたPCL付着部裂離骨折鏡視下固定術2例の小経験]	
向井 章悟、中川 泰彰	
2022.06.16-18	第14回日本関節鏡膝スポーツ整形外科学会
[膝関節の自家骨軟骨移植術における長期経過後の再鏡視像]	
高橋 真、中川 泰彰、向井 章悟、新屋 祐希、中村 亮太	
2022.06.24-25	第48回日本骨折治療学会学術集会
[開放骨折の感染を拡大させないためのデブリドマン—その質を高めるための模索]	
山本 博史、中村 亮太	
2022.06.24-25	第48回日本骨折治療学会学術集会
[手根中手関節脱臼骨折治療の診断と治療のpitfall]	
中村 亮太、山本 博史	
2022.11.12-13	第33回日本臨床スポーツ医学会学術集会
[コロナ禍における少年野球の練習時間と投球障害発生の関係について]	
向井 章悟、中川 泰彰、中村 亮太、井上 直人、横田 尚子、木下 和昭	
2023.02.11	第115回京都整形外科懇話会
[Degloving injuryの3例]	
山本 博史、山田 茂、向井 章悟、宮田 誠彦、坪内 直也、中山 雄介、樋 謙作、笹原慎太郎、高橋 基	
2023.02.03-04	第35回日本肘関節学会学術集会
[肘関節内骨折に対する経肘頭的アプローチの有効性と限界]	
山本 博史、向井 章悟	
2023.03.03-04	第35回日本軟骨代謝学会
[生体膝における関節軟骨の超音波利用による力学的特性診断—変制度や年齢との比較—]	
中川 泰彰、森 浩二、向井 章悟、山田 茂	

## 投稿論文など

論文種類 / タイトル / 著書・雑誌名, 巻, 号, ページ, 発行年月, 出版社  
著者 (下線は当院所属)

### 原著論文

膝軟骨損傷の術前MRI診断はどこまで可能か

映像情報 Medical, 54, 9, 26-29, 2022.08, 産業開発機構映像情報メディカル編集部

中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直哉, 南 良輔, 坂井沙也子,  
新屋 祐希, 中村 亮太, 高橋 真

### 原著論文

上腕二頭筋麻痺で肘屈曲がMMT4である症例

臨床整形外科, 57, 11, 1369-1373, 2022.11, 医学書院

山本 博史, 中川 泰彰, 向井 章悟

### 原著論文

砂時計様くびれを認めた橈骨神経麻痺に対する神経剥離術の成績—2例報告と文献的考察

日本肘関節学会雑誌, 29, 2, 256-260, 2022

山本 博史, 向井 章悟, 中川 泰彰

### 原著論文

小学軟式野球選手における超音波検査かつX線や、CT、MRI所見で認められた肘障害の因子～1年前の検診結果から～

日臨スポ会誌, 30, 2, 468-474, 2022

木下 和昭, 中川 泰彰, 向井 章悟, 井上 直人, 横田 尚子, 橋本 雅至

### 原著論文

自家骨軟骨移植術でのドナー採取不可能例は術前診断ができるか？

JOSKAS, 47, 510-513, 2022

中川 泰彰, 向井 章悟

### 原著論文

膝軟骨損傷の術前MRI診断はどこまで可能か。

映像情報 Medical, 54, 9, 26-29, 2022

中川 泰彰, 山田 茂, 山本 博史, 向井 章悟, 宮田 誠彦, 坪内 直哉, 南 良輔, 坂井沙也子,  
新屋 祐希, 中村 亮太, 高橋 真

### 原著論文

大腿骨滑車部離断性骨軟骨炎のX線所見の検討

日臨スポ会誌, 30, 643-648, 2022

新屋 祐希, 中川 泰彰, 向井 章悟, 前田 峻宏, 里見健太郎, 中村 亮太

### 原著論文

前腕切断に対する再接着術の予後決定因子

整形外科, 74, 3, 209-214, 2023

山本 博史, 藤田 俊史

### 原著論文

The oral administration of highly-bioavailable cur cumin for one year has clinical chondro-protective effects

Arthroscopy, Sports Medicine, and Rehabilitation, 4, 2, pp e393-e402, 2022.04

Yasuaki Nkagawa, Koji Mori, Shigeru Yamada, Shogo Mukai, Akiko Hirose, Ryota Nakamura

### 原著論文

Reoperation for Misplaced Pedicle Screws : A Multicenter Retrospective Study

Spine (Phila Pa 1976), 47, 21, 1525-1531, 2022.11

Seiichi Odate, Shunsuke Fujibayashi, Bungo Otsuki, Jitsuhiko Shikata, Naoya Tsubouchi,  
Ryosuke Tsutsumi, Masato Ota, Kanba Yusuke, Hiroaki Kimura, Eijiro Onishi, Shimei Tanida, Hideo Ito,  
Tatsuya Ishibe, Shuichi Matsuda

### 原著論文

Neurological severity evaluation using magnetic resonance imaging in

International Orthopaedics, 46, 10, 2347-2355, 2022.10

Shintaro Honda 1, Shunsuke Fujibayashi 2, Takayoshi Shimizu 2, Naoya Tsubouchi 3, Yusuke Kanba 4,  
Takashi Sono 5, Hiroaki Kimura 6, Seichi Odate 7, Eijiro Onishi 8, Yasuyuki Tamaki 9,  
Takuya Tomizawa 10, Ryosuke Tsutsumi 11, Ko Yasura 12, Koichi Murata 2, Bungo Otsuki 2,  
Shuichi Matsuda 2

### 原著論文

Autologous osteochondral grafts result in improved clinical outcomes in patients with early knee osteoarthritis

ASMAR, 4, 2, e713-719, 2022

Nakagawa Y, Mukai S, Nishitani K, Murata, S, Satomi K, Shinya Y, Nakamura R

論文種類 / タイトル / 著書・雑誌名, 巻, 号, ページ, 発行年月, 出版社  
著者 (下線は当院所属)

〔原著論文〕

Radiological osteoarthritic knee joint changes in high school and collegiate sumo wrestlers—The observational study—

Medicine, 101, 37, e30642, 2022.09

Nakagawa Y, Mukai S, Minami K, Hattori Y, Yamagishi, H, Nakamura R

---

〔原著論文〕

The effects of alendronate on the uppression of bone resorption and the promotion of cartilage formation in the human mosaicplasty donor site : a randomized, double-blind, placebo-controlled prospective study  
J Orthop Sci, 27, 4, 835-843, 2022

Nakagawa Y, Mukai S, Mori K, Yabumoto H, Nakamura R, Shinya Y.

---

〔原著論文〕

Intraoperative acoustic evaluation of living human knee cartilage—comparison with respect to cartilage degeneration and aging—

Cartilage 2023, 19476035231154509., 2023.02

Nakagawa Y, Mori K, Mukai S, Shinya Y, Nakamura R, Takahashi M.

---